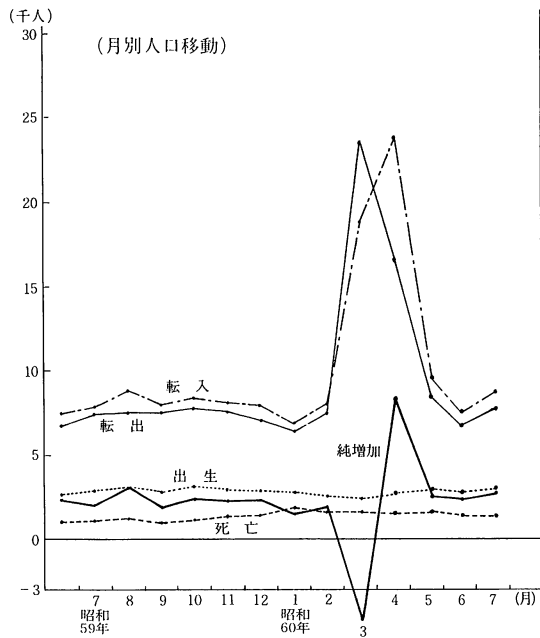


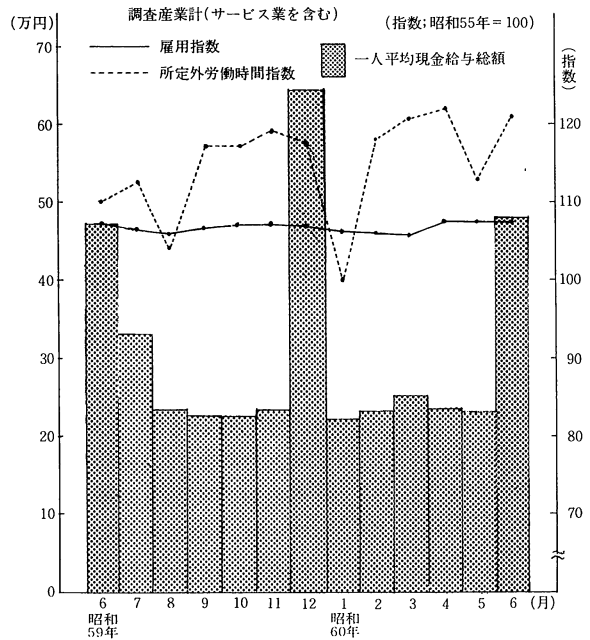
●今月の主な動き

今月の主な動き

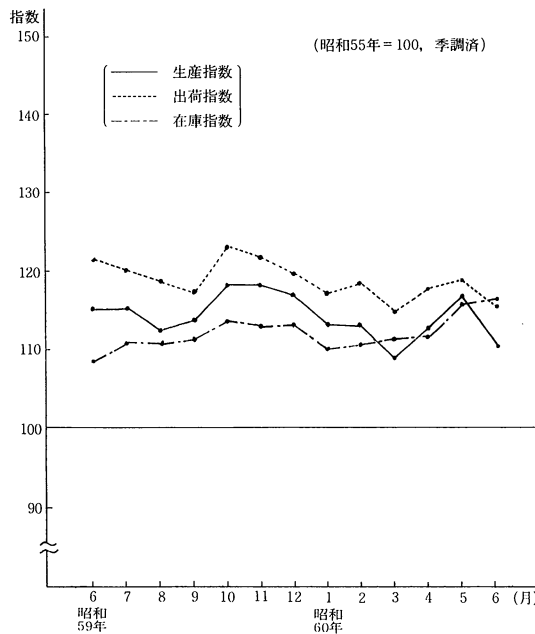
人 口



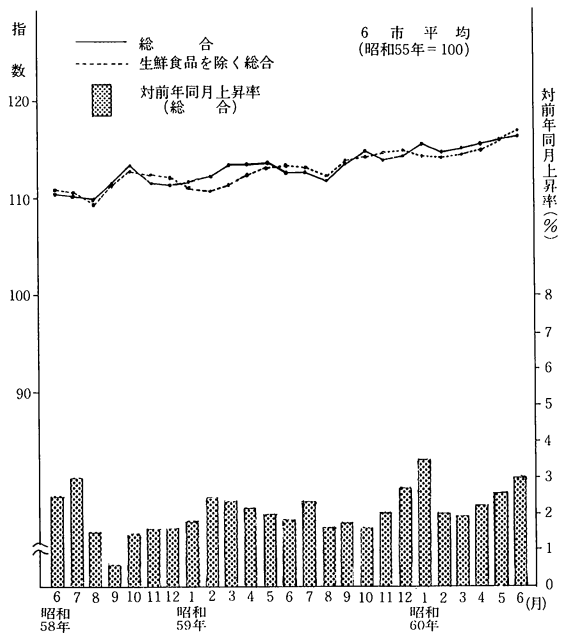
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし 企画部統計課

■ 人 口 (8月1日)

本県の人口は、7月中に2,659人増加し、8月1日現在で2,712,305人となった。昨年8月1日と比較すると、26,893人(1.00%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,699人(出生2,998人、死亡1,299人)、社会動態で960人(転入8,631人、転出7,671人)、そ

れぞれ増加した。

市町村別では、増加が15市58町村、減少が3市15町村、増減なしが1村である。

世帯数についても、698世帯増加して、760,717世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (6月)

1. 平均賃金の推移

6月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は476,550円で前月に比べ106.7%増(前年同月比2.8%増)であった。

このうちきまって支給する給与は232,607円で前月に比べ3.3%増(前年同月比3.6%増)であり、特別に支払われた給与は243,943円で前年同月に比べ4,159円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は189.1時間で、前月に比べ9.9%増(前

年同月比1.0%減)であった。

このうち所定内労働時間数は170.0時間で前月に比べ10.2%増(前年同月比1.5%減)であり、所定外労働時間数は19.1時間で、前月に比べ7.3%増(前年同月比3.5%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、107.1で、前月に比べ0.1ポイント減、前年同月と保ち合いであった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (6月)

本県における昭和60年6月の“鉱工業指数、(昭和55年=100)は、季節調整指数で、生産が110.6、出荷が115.8、在庫が116.7で、前月比は、生産が5.6%の低下、出荷が2.8%の低下、在庫が0.4%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が3.7%の低下、出荷が4.6%の低下、在庫が7.5%の上昇であった。

業種別にみると、生産では、電気機械、輸送機械等が上昇し、石油・石炭製品、化学、金属製品等が低下した。出荷で

は、電気機械、鉱業、木材・木製品等が上昇し、石油・石炭製品、一般機械等が低下した。在庫では、石油・石炭製品、繊維、電気機械等が上昇し、鉱業、輸送機械等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、耐久消費財が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。出荷では、耐久消費財が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。在庫では、耐久消費財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、建設財が低下した。

■ 消費者物価指数 (6月)

昭和60年6月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で116.4(昭和55年=100)となり、前月比0.3%の下落、対前年同月比3.1%の上昇となった。

今月上がった主な項目……シャツ・下着類3.4%、乳卵類1.7%、飲料0.7%、生地・他の被服類0.7%、他の家具・家事用品0.6%、教養娯楽耐久財0.6%、家賃0.4%、設備修繕・維持0.4%、理美容サービス0.4%

今月下がった主な項目……果物△8.3%、衣料△2.2%、魚介類△1.9%、野菜・海藻△1.0%、交通△0.5%、

自動車等関係費△0.4%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	116.4	△0.3	3.1	保健医療	116.7	0.0	7.4
食 料	115.2	△0.8	1.9	交通通信	111.7	△0.4	3.0
住 居	117.2	0.4	4.3	教 育	140.2	0.0	4.4
光熱・水道	108.4	0.0	△0.6	教養娯楽	117.5	0.4	2.7
家具・家事用品	110.0	0.5	3.9	諸 雑 費	114.2	0.1	1.4
被服及び履き物	123.5	△0.2	8.1	生鮮食品を除く総合	116.7	0.1	2.9